



平成16年9月30日

各位

会社名 三井不動産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岩沙弘道
 (コード番号 8801 東証・大証第1部)
 問合せ先 執行役員広報部長 齋藤敬義
 (TEL. 03 - 3246 - 3155)

固定資産減損会計の早期適用および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成16年9月30日開催の取締役会において、下記のとおり「固定資産の減損に係る会計基準」を平成17年3月期において早期適用することを決議いたしました。あわせて、平成16年4月30日に発表した平成17年3月期(中間期および通期)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用について

当社グループにおきましては、固定資産の減損会計について平成17年3月期に早期適用することとし、当社および連結子会社が所有する固定資産(ゴルフ場、借地権、建物など)について減損処理を行い、当中間期(平成16年9月)連結決算において約340億円の特別損失を計上する予定であります。

2. 当期の連結業績予想数値の修正

中間期(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成16年4月30日発表)	450,000	20,000	13,000
今回修正予想(B)	451,000	26,000	9,500
増減額(B-A)	1,000	6,000	22,500
増減率(%)	0.2	30.0	173.1
(ご参考) 前中間期実績(平成15年9月期)	486,098	33,448	20,111

通期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年4月30日発表)	1,105,000	91,000	45,500
今回修正予想(B)	1,105,000	91,000	23,000
増減額(B-A)	-	-	22,500
増減率(%)	-	-	49.5
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	1,102,844	87,236	14,454

3. 当期の個別業績予想数値の修正

中間期(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成16年4月30日発表)	223,000	14,000	8,000
今回修正予想(B)	224,000	20,000	6,000
増減額(B-A)	1,000	6,000	14,000
増減率(%)	0.4	42.9	175.0
(ご参考) 前中間期実績(平成15年9月期)	262,277	20,273	11,553

通期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年4月30日発表)	598,000	55,500	26,500
今回修正予想(B)	598,000	55,500	12,500
増減額(B-A)	-	-	14,000
増減率(%)	-	-	52.8
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	615,984	62,922	6,605

4. 修正の理由

(1) 連結業績修正の理由は、以下のとおりであります。

中間期の売上高、経常利益につきましては、連結財務諸表提出会社(当社)の中間期業績予想修正に伴い、連結業績予想の修正を行うものであります。

また、中間純利益および当期純利益の修正につきましては、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用により、当社および連結子会社が保有する固定資産(ゴルフ場、借地権、建物など)に関する減損損失約340億円を特別損失として計上することなどによります。

(2) 個別業績修正の理由は、以下のとおりであります。

中間期の売上高、経常利益につきましては、主に業務用地等分譲事業や不動産流動化関連事業などにおいて、期初計画に比べ前倒しで進捗していることを織り込み、個別業績予想の修正を行うものであります。

また、中間純利益および当期純利益の修正につきましては、当社の「固定資産の減損に係る会計基準」の適用による減損損失ならびに連結子会社の同会計基準適用に伴う子会社株式評価損および貸倒引当金繰入額あわせて約300億円を特別損失として計上することなどによります。

以上